

事業所名		長浜市児童発達支援センター浜の子園 長浜市こども療育センターいちご園		支援プログラム		作成日		2025 年		1 月		25 日	
基本理念		こどもたちが地域において、もてる力を十分に発揮し、自分らしく生活できるように発達支援を行います											
支援方針		○こどもを支える…一人ひとりのお子さんに十分なアセスメントを行い、適切な支援を提供します。 ○家族を支える…保護者自身の「自分らしい子育て」に寄り添い、応援します。 ○地域を支える…お子さんの特性や発達に応じた支援を考え、地域と一緒に実践します。											
開所時間		9 時		0 分から		16 時		45 分まで		送迎実施の有無		なし	
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・一人ひとりのお子さんの様子を把握し、その日の状態に合わせて、無理なく活動に参加できるよう配慮します。 ・衣服の着脱、持ち物の整理を、「大人と一緒に」または「自分でできる」よう支援します。 ※生活面（睡眠、食事、排泄など）については、家庭・園と連携を図り、支援します。											
	運動・感覚	・日常生活に必要な動作の基本となる「まげる」「のぼす」「ふんばる」「ひねる」「しゃがむ」などの体の使い方を経験できるようにします。 ・自分の体のイメージを高め、状況に合わせた体の使い方や力の調整ができる遊びを行います。 ・遊びの中で、いろいろな感覚に触れる機会を設け、受け入れられる感覚の幅を広げます。											
	認知・行動	・一人ひとりの「わかり方」を理解して、遊びの手順や見通しを伝える工夫や配慮をします。 ・遊びの中で、大小、数、重さ、空間、時間などをわかりやすく知る機会を作ります。 ・写真や絵、文字などで活動内容をわかりやすく提示し、「わかった」「やってみよう」「できた」につながるよう支援します。											
	言語 コミュニケーション	・視線、指差し、身振り、サイン、言葉を用いて、自分の思いを伝えることができるよう支援します。 ・「伝えた」「伝わった」というやりとりの楽しさが実感できるように、関わります。 ・実際の事物や体験と言葉を結びつけることにより、「わかる言葉」「使える言葉」が増えるよう支援します。											
	人間関係 社会性	・安心できる環境の中で、人に対する信頼感、自分に対する信頼感もてるよう支援を行います。 ・安定した大人との関係のもと、気持ちの切り替えや調整ができるよう支援します。 ・個別や小集団の活動を通して、身近な大人や友達と一緒に遊ぶ楽しさが感じられるよう支援します。											
家族支援		・療育への参加や話し合いを通じて、お子さんへのかかわり方を一緒に考えます。また、保護者の悩みや不安を軽減できるよう、相談支援や必要な情報提供を行います。 ・保護者グループの活動を通して、保護者同士のつながりを大切にします。 ・保護者座談会、保護者研修会、就学に関する研修会を実施し、お子さんへの気づきや理解を深めていきます。 ・「保護者のためのおしゃべり会」の後方支援をしていきます。											
移行支援		・療育職員の園訪問や、在籍園からの療育見学の受け入れを積極的に行い、お子さんの様子や支援方針を共有していきます。 ・在籍園での適切な支援や環境設定、集団の中での過ごし方についての配慮や工夫など、園の先生と一緒に考えます。 ・在籍園と連絡会を行い、支援の共有や役割分担をするなど、連携して支援を行います。											
地域支援・地域連携		・地域の医療、教育機関等と情報共有をするなど、連携を図ります。 ・必要に応じて、保護者の同意のもと就学・就園先の校園へ引継ぎを行います。 ・お子さんの利用されている他の児童発達支援事業所や、相談支援事業所等と情報共有をするなど、連携を図ります。											
職員の質の向上		・外部講師や医療専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、オプトメトリストなど）による研修を実施し、職員の発達や障害に対する学びを深めます。 ・グループでの日々の振り返りや、定期的なケース検討会を実施し、支援の評価や見直しを行います。											
主な行事等		・避難訓練（前期：火災 後期：地震） ・健康診断、歯科指導											